

2022年度・神奈川県大会開催要項

[高円宮賜杯 第42回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント神奈川県予選大会]



McDonald's TOURNAMENT

マクドナルド・トーナメント

1. 主催 (一社) 神奈川県野球連盟
2. 特別協賛 日本マクドナルド株式会社
3. 協賛 ナガセケンコー(株)・(株)共同写真企画・東京新聞・川崎信用金庫
4. 主管 川崎野球協会 ☎(携帯)090-3818-6485 森 理事長
5. 会場 川崎市営・等々力球場 他 ☎044-738-1521
6. 期日 令和4年6月4日(土)・5日(日)・11日(土)・12日(日) 予備日:18日(土)・19日(日)
7. 開会式 6月4日(土) 午前8時30分から、川崎市営・等々力球場で行う。
8. 出場資格
 - 1) 県下各地区の予選を経て選抜された、合計32チームで、且つ、支部長の推薦を受け、県代表として全国大会に経費自己負担での出場が可能なチームとする。
 - 2) 本年度登録チームで、小学年齢層のクラブチームとし、平成22年4月2日から平成28年4月1日までに生まれた者
 - 3) チームは、監督1名・コーチ2名以内・選手は10名以上、20名以内の男女で編成する。ただし、監督・コーチは成人者とする。
9. 適用規則
 - 1) 2022年度版 公認野球規則
 - 2) 2022年度版 競技者必携の中で、学童部に関する事項
10. 大会規則 不正出場、その他の規則違反については、全軟連規則に準じる。
11. 使用球 県連盟公認球・ケンコーボール J号【大会本部で準備します】
12. 参加申込 大会参加申込書に支部長の公印を受け、監督・主将会議で提出する。
13. 参加料 1チーム ¥12,000円を監督・主将会議で納入する。
14. 監督主将会 監督・主将会議は下記により行う。
監督とユニフォーム着用の主将が、必ず出席すること。故なく欠席した場合は棄権とみなす。尚、支部役員の代理出席は認める。(競技者必携持参)
 - 1) 日時 2022年5月14日(土) 午後2時00分～
 - 2) 場所 カルッツかわさき 中会議室1・2・3合併 [1階]
川崎市川崎区富士見 1-1-4 ☎ 044-222-5211
15. その他
 - 1) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1人の投手は1日70球以内を投球できる。なお、試合中に70球に達した場合、その打者が打撃を完了するか、攻守交代まで投球できる。
 - 2) 打者・走者・次打者及びベースコーチは、S・Gマーク付きで、全軟連公認の両側にイヤーフラップの付いたヘルメットを必ず着帽する。
 - 3) 捕手は、全軟連公認のマスク・レガーズ・プロテクター、S・Gマークの付いた捕手用ヘルメット及びファウルカップを必ず装着すること。
 - 4) すそ幅の広いストレートタイプのパンツは、着用を禁止する。
 - 5) 試合のベンチ入りは、大会参加申込書に記載のある者だけとする。
 - 6) 全国大会出場は、優勝チームとする。〔8月8日～東京都〕

2022年 4月

各出場チーム・役員様

一般社団法人 神奈川県野球連盟
会長 山口 宏 (公印省略)

神奈川県大会開催要項

(一社)神奈川県野球連盟

1. 大会適用規則

2022年度版公認野球規則及び競技者必携を適用する。

※選手の肘・肩の障害防止を考慮し、一人の投手が1日に投球できる数を、70球以内とする。

なお、試合中に70球に達した場合、その打者が打撃を完了するか、攻守交代まで投球できる。

2. 打順表と攻守の決定

第1試合は、開始予定時刻の30分前、第2試合以降は前の試合の2回終了時まで、打順表5通(登録された選手全員を記入したもの・選手名にふりがな)を監督と主将が大会本部に提出し、参加申込書との照合を受けた後、球審の立会いのもとに攻守を決定する。

- 1) 参加申込書提出後は、選手の追加・変更及び背番号などの変更は認めない。
- 2) 遅れるか、人数が揃わないか、その他で試合開始予定時刻になっても試合のできる状態を取れないチームは、原則として棄権とみなす。
- 3) 前の試合が早く終了した場合には、次の試合の開始予定時刻前であっても、その試合を開始する場合がある。(前の試合が終了した後、20分を目安に次の試合を開始する)
- 4) 試合のベンチ入り人数は、登録されユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番・28番、および選手20名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー各1名とする。また、熱中症対策として保護者2名までベンチに入ることができる。(ビブスを着用のこと)
- 5) 試合には特別な事情が無い限り、参加届に記載された選手全員が参加しなければならない
- 6) ベンチは、組合せ番号の若いチームを一塁側とする。

3. 大会特別規則

- 1) 試合は6回戦であるが、暗黒、降雨などで6回完了まで進まなくても5回を終了すれば試合は成立する。なお、5回終了前でも1時間30分を経過したら新しいイニングに入らない。ただし、6回を完了して同点の場合と、1時間30分を経過して同点の場合は、抽選(○×式とし、○印の多いチームが勝ち)で勝敗を決定する。
- 2) 得点差によるコールドゲームを全試合採用する。(3回以降10点差・5回以降7点差とする)
- 3) 決勝戦は6回を完了し同点の場合、または、試合開始後1時間30分を経過し同点の場合は、いずれも直ちにタイブレーク方式で試合を決する。
- 4) タイブレーク方式は継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁の走者とする。すなわち、0アウト・二塁の状態にして、投手の投球制限を遵守のうえ、勝敗が決するまで続行する。なお、得点の記録は、合計得点とする。

4. 使用球と用具・装具

- 1) 使用球は、県連盟公認球のケンコーボール J号とし、大会本部で準備する。
- 2) 金属バット・ハイコンバットは、全軟連公認のものを使用すること。
- 3) 打者・次打者・走者・ベースコーチは、S・Gマークのついた全軟連公認で、両側にイヤーフラップのついたヘルメットを着帽すること。
- 4) 捕手は、全軟連公認のマスク・レガーズ・プロテクター、S・Gマークのついた捕手用ヘルメット及びファウルカップを装着すること。
- 5) すそ幅の広いストレートタイプのパンツは、監督、コーチも含めて着用を禁止する。
- 6) ユニフォームの袖の長さは両袖同一で、左袖に日本字またはローマ字による県名を必ずつけなければならない。また、他のものをつけてはならない。

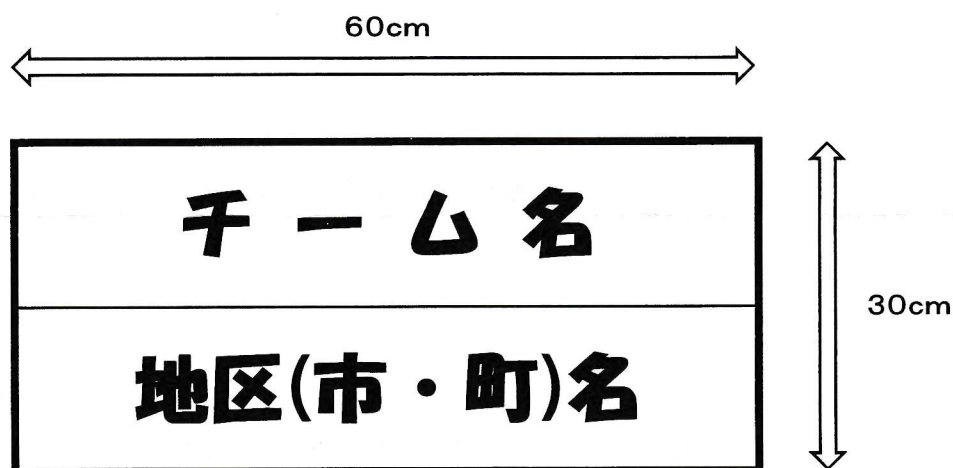
5. その他の取り決め事項

- 1) ファウルボールは、一塁側のものは一塁側ベンチ、三塁側のものは三塁側ベンチ、本塁後方のものは攻撃側で処理すること。
- 2) 対戦するチームの監督・コーチ・スタッフの皆様は、自主的にグラウンド整備を手伝うこと。
- 3) 球場関係者と無用なトラブルを起こさないよう、言動に注意すること。
- 4) ベンチ内での電子機器類(携帯電話、パソコン等)、携帯マイクの使用を禁止するが、電子スコア記録用として1台の使用を認める。
なお、指示用メガホンは、ベンチ内に限り1個の使用を認める。

6. 試合のスピード化に関する事項

- 1) 攻守交代はかけ足で行い、第三アウトが成立したら、プレーヤーは素早くベンチを離れて、守備位置に向かうこと。
特に、バッテリーは投球練習があるので、率先して行動すること。
- 2) 各回の先頭打者と、次打者及びベースコーチは、ミーティングに参加しないで、ただちに所定の位置につくこと。
- 3) 内野手間の転送球は一回りとする。(状況によっては中止することもある)
最後にボールを受けた野手は、定位置から速やかに投手に返球すること。
- 4) 投球を受けた捕手は、その場から速やかに投手に返球すること。
- 5) 捕手から返球を受けた投手は、速やかに投手板を踏み投球姿勢をとること。
無用と思われる塁へのけん制が、度を過ぎれば注意を与える。
- 6) 打者は速やかに打者席に入って打撃姿勢をとり、次打者は、必ず次打者席へ入り低い姿勢で待機すること。 ※ 投手も必ず実行すること。
- 7) 打者は、みだりに打者席を外さないで、サインは打者席内で見ること。
- 8) 攻守交代時、最後のボール保持者は、投手板にボールを置いてベンチに戻ること。
- 9) 走者は、ファウルボールが打たれた時は、かけ足で元の塁に触れること。
- 10) 捕手または内野手が、1試合に投手のもとへ行ける回数を、3回以内とする。
なお、タイブレーク方式となった場合は、1イニングに1回行くことができる。
- 11) 監督が、1試合に投手のもとへ行ける回数を、3回以内とする。
なお、タイブレーク方式となった場合は、1イニングに1回行くことができる。
投手交代の場合は、監督は上記の回数に数えない。
- 12) 監督が、1イニングに同一投手のもとへ2度目に行くか、行ったとみなされた場合(伝令を使うか、捕手または他の野手に指示を与え直接投手のもとへ行かせた場合)は投手は自動的に交代しなければならない。
“連盟”では、交代した投手が、野手として他の守備位置につくことが許される。
なお、他の守備位置についた時は、同一イニングには再び投手に戻れない。
- 13) 一般と同様に監督に限り、グラウンドに出て指示することができる。
- 14) 攻撃側のタイムは、3回以内とし、タイブレーク方式の場合は1イニングに1回とする。
- 15) 塁上の走者及び、コーチボックスやベンチから、球種などを打者に知らせるためのサインなどを出すことを禁止する。

高円宮賜杯 第42回全日本学童軟式野球大会
プラカード用紙(貼付け用)の作成・持参について(依頼)



※プラカード板に、上記の表示用紙を貼り付けます。